

重点戦略[5]

成長する農林水産業と農山漁村づくり

今後、一次産業の担い手不足や高齢化に加え、人口減少に伴う国内市場の縮小が見込まれることなどから、農林水産業への影響はもとより、農山漁村の機能そのものが失われることが懸念されています。このため、多様な担い手の確保や経営基盤の強化に向けた施策を推進するとともに、里山里海での生業づくりを進め、農山漁村の活性化を図っていきます。

農業においては、収益性向上による所得の最大化のため、コスト削減や高付加価値化、販路の拡大や海外展開も視野に入れつつ、成長産業化を進めます。

また、林業においては、人工林が資源として成熟し利用可能となる段階を迎えることから、森林資源の健全な育成のための利活用と林業の活性化を図り、水産業においては、漁獲量が不安定な中、本県水産物に対する需要の高まりに対応するため、漁業の振興と中長期的な安定供給を図っていきます。

なお、環太平洋パートナーシップ(TPP)協定については、農林水産業に与える影響が最小限となるよう必要な対策を講じることを国に働きかけていきます。

施策
1

次世代に向けた他産業との連携による農林水産業の収益性の向上

- 他産業の技術・ノウハウを活用し、低コスト化を図るとともに、食品産業等との連携や6次産業化による付加価値の高い商品づくりを通じ、農林水産業の収益性の向上を進めます。

施策
2

ニーズの変化に対応した生産・販路の拡大と海外展開

- 所得確保に向け、新たな品目の導入や農産物の加工など、経営の複合化・多角化を推進し、個々の状況に応じた農業経営の最適化を支援します。
- 北陸新幹線金沢開業による県産食材需要の高まり等の多様なニーズに応えるため、県産食材の生産・販路の拡大を図ります。
- 本県の歴史・文化、気候風土等の特徴を活かした県産食材の差別化により、一層のブランド化を推進します。
- 食材や器などを含めた食文化の総合力を活かし、海外展開を図ります。

施策
3

地域の農業を担う多様な担い手の活躍の支援

- 農地中間管理事業など様々な施策を戦略的に活用し、企業等の農業参入を促進します。
- 担い手への農地集積や法人化などを支援するほか、多様な基盤整備により効率的な農業の展開を支援します。
- 女性の経営参画や女性の視点を活かした商品開発等を支援します。

施策
4

森林資源の利活用と林業の活性化

- 低コストで安定的な県産材供給体制の整備や一体的かつ体系的な人材育成により、人工林資源の積極的な利活用を進め、森林の健全な育成と木材の安定供給を図ります。
- 県産材の加工流通体制を強化するなど、再生可能資源である木材の利用促進を図ります。

施策
5

漁業の振興と水産物の安定供給

- 中長期的な安定供給のため、適正な天然資源の管理や増殖・養殖に取り組みます。
- 鮮度管理技術等を普及するとともに、水産業を担う人材を育成し、県産の新鮮でおいしい水産物を県内外に供給します。

施策
6

地域の強みを活かした里山里海の振興

- 世界農業遺産「能登の里山里海」をはじめとする多様な地域資源を活用した生業づくりを支援します。
- 地域の自然や食を活かしたスローツーリズムの取組みなどにより、人を呼び込む農山漁村づくりを進めます。
- 農山漁村の多面的な機能の発揮と安全・安心な地域づくりを進めます。



次世代に向けた他産業との連携による農林水産業の収益性の向上

- ① 企業等の技術やノウハウを活かした生産性向上の取組みを推進します。
 - 製造業と連携し、ICT技術の活用等による生産性向上を図ります。
 - 木質バイオマスのエネルギー利用などを通じて木材生産を促進し、林業の収益性向上を図ります。
- ② 食品産業と連携した新商品開発等の6次産業化を推進します。
 - 食品産業等と連携した新たな加工技術の確立等を図ります。
 - 6次産業化に向けたビジネスプランの作成やノウハウ取得の支援により、人材育成を図ります。
- ③ 気候変動に対応した生産技術の開発と普及を図ります。
 - 大学等との連携により、新技術の開発等に取り組めます。



ICTブルドーザの活用



木質バイオマスエネルギーの利用
(木質バイオマスボイラー)



ニーズの変化に対応した生産・販路の拡大と海外展開

- ① 農業を取り巻く情勢の変化に対応した経営の複合化と多角化を推進します。
 - 様々な品目の組み合わせによる複合化や6次産業化による経営の多角化を図ります。
 - 知的財産制度の活用等により、ブランド価値の向上を図ります。
 - 消費者や需要者のニーズに応える試験研究を推進します。
 - 希少食材の保存・継承を図ります。
- ② 需要者のニーズに対応した生産と販路の拡大を図ります。
 - 米の品質向上と生産コストの低減を図ります。
 - 市場への安定出荷に向け、園芸品目の出荷量の確保を図ります。
 - 能登牛や能登豚の生産量の確保に向けた体制整備を図ります。
 - 県産食材の魅力首都圏等に発信し、販路の拡大を図ります。



経営複合化に向けた取組み(ニンジン播種作業)



ルビーロマン

エアリーフローラ

- ④ 食文化の総合力を活かした県産食材の海外展開を図ります。
 - 県産食材の輸出促進に向けた体制づくりと、海外における商談会等により販路開拓を推進します。
- ⑤ 環境と調和した農業を推進します。
 - 環境保全型農業の普及に向けた技術指導等を行います。
- ⑥ 幅広い食育と地産地消を推進します。
 - 子どもから大人までの幅広い層への食育と地産地消の取組みを推進します。
 - 学校給食における地場産物の活用等により食育を推進します。



能登牛

- ③ 特色ある県産農林水産物のより一層のブランド化を推進します。
 - ルビーロマン、エアリーフローラ、能登牛をはじめとする本県の特色ある農林水産物のさらなる商品価値の向上を図ります。
 - 他産地との差別化を図る石川オリジナル品種の開発と定着を促進します。



能登棚田米生産現場



地域の農業を担う 多様な担い手の活躍の支援

- ① 企業等の農業参入を促進するなど、意欲ある担い手の確保に取り組みます。
 - 農地の確保・あっせんから、人材の確保、経営の支援までを一貫して行う「農業参入総合支援プログラム」により、企業等の参入を促進します。
- ② 新規就農者の確保・育成を図るとともに、担い手のスキルアップを支援します。
 - 「いしかわ就職・定住総合サポートセンター」及びその首都圏でのワンストップ窓口「いしかわ移住UIターン相談センター」と連携して、新規学卒者やUIターン希望者の移住就農を促進します。
 - いしかわ耕稼塾において、就農希望者等への栽培技術の習得や農業経営のスキルアップを支援します。
- ③ 女性が活躍できる環境を整備します。
 - 女性の経営参画や女性の視点を活かした商品開発等を支援します。
- ④ 担い手の経営発展に向けて農地集積を促進します。
 - 農地中間管理事業等を活用し、地域外から参入する企業や農業者への農地集積を促進します。
- ⑤ 多様な担い手のニーズに対応した農地整備を推進します。
 - 簡易な基盤改良から大区画ほ場整備まで、効率的な農業の実現に向けた基盤整備を推進します。



いしかわ耕稼塾



農地整備の推進

(七尾市高階地区の事例:上写真 着手前、下写真 完成後)



森林資源の利活用と 林業の活性化

- ① 多様で健全な森林の整備・保全を行います。
 - 成熟しつつある人工林資源を適切に利用しながら森林整備を推進します。
 - 県民生活の安全・安心を確保する治山対策を推進します。
 - 病害虫等による森林被害を防止するとともに、抵抗性クロマツの植栽等により海岸林を再生します。
 - 森林ボランティア活動など、県民全体で支える森づくりを推進します。
- ② 低コストで安定的な県産材供給体制の整備に向け、効率的な作業システムの確立と人材の育成を図ります。
 - 森林施業の集約化や高密度路網の整備、高性能林業機械の導入等により、生産性の向上を図ります。
 - あすなろ塾において、間伐材等の効率的な生産・搬出のための技術の習得等を支援します。
- ③ 県産材の加工流通体制の強化など、再生可能資源である木材の利用促進を図ります。
 - 県産材供給量の拡大を図るため、製材・合板工場の加工能力の強化を図ります。
 - 公共建築物や土木工事、一般住宅への県産材利用を促進します。
 - 未利用間伐材の木質バイオマス資源としての有効利用を促進します。
 - 県民総参加の木づかい運動を推進します。



森林ボランティア



高性能林業機械



住宅における県産材利用

施策
5

漁業の振興と水産物の安定供給

- ① 水産物の安定供給のため、適正な天然資源の管理や増殖・養殖に取り組みます。
- 国や県の定める漁獲割当の円滑な履行と、漁業者の自主的な資源管理を促進します。

- 人工魚礁や増殖場の造成を推進します。
- ヒラメ、アワビ等の種苗放流に取り組みます。
- トリガイ、ドジョウ等の養殖の普及・拡大を図ります。



資源管理イメージ

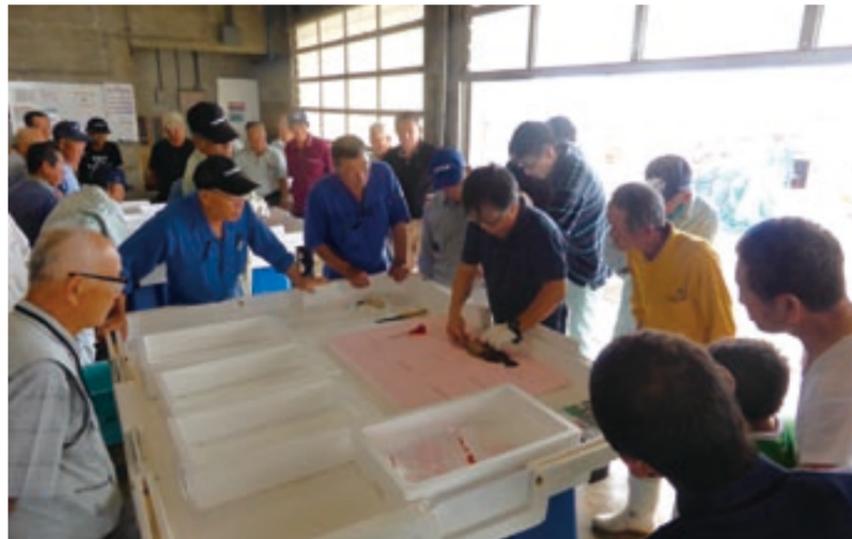


トリガイの養殖



- ② 持続的な漁業経営を確立するため、高鮮度・高付加価値な水産物の供給と、意欲ある人材の育成を図ります。
- 高鮮度な水産物の供給に向け、漁港施設等の生産基盤の整備を推進します。

- 鮮度管理技術の向上や新たな加工品の開発等により、水産物の付加価値向上を図ります。
- わかしお塾において、漁労技術の習得や漁業経営のスキルアップを支援します。



わかしお塾

施策
6

地域の強みを活かした里山里海の振興

- ① 世界農業遺産「能登の里山里海」をはじめとする多様な地域資源を活用した生業づくりを支援します。

- 里山振興ファンドの活用により、生業づくりを支援します。
- 国内の世界農業遺産認定地域との連携等により、「能登の里山里海」の魅力発信を図ります。
- 海女文化の継承と、生業としての海女漁の振興を図ります。



白米千枚田

- ② スローツーリズムの取り組みなどにより、人を呼び込む農山漁村づくりを推進します。

- 多種多様な食・食文化などの地域資源に磨きをかけ、これらをネットワーク化することで地域の魅力を高め、里山里海の活性化を図ります。



世界農業遺産「能登の里山里海」
ロゴマーク



海女漁

◆ スローツーリズムのイメージ

農家民宿を核に「食」をはじめとする里山里海の魅力を地域で一体的に提供



- ③ 農山漁村の多面的機能の発揮と安全・安心な地域づくりを推進します。

- 多面的機能支払制度をはじめとした日本型直接支払制度の取組みの拡大を図ります。
- 農業水利施設等の保全管理による安全・安心な地域づくりを推進します。
- 鳥獣被害の防止や捕獲活動の取組みを支援するとともに、ジビエとしての利活用を促進します。



ジビエ料理